

2025 年度 学校法人 三幸学園 札幌スイーツ&カフェ専門学校 自己評価報告書

自己評価報告責任者：副校長 古宇田 圭一

1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、製菓・調理分野の学校として「美味しくてかわいいスイーツと・カフェを通じて日本を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。

また「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材」、製菓・調理分野として「美味しくてかわいいスイーツ・カフェを通じて、時間と空間をトータルプロデュースし、人の心を豊かにする人材を育成する(全ては、お客様の笑顔とありがとうのために)人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

2. 前年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

① 前年度重点施策振り返り

学校生活満足度向上に向けて

・学内で実施している学校生活、授業の進め方、卒業生のアンケート項目数値向上に向け、教科会やクラス会議を実施し、教員陣が課題に対してどうしたらできるかコミュニケーションをとる機会を例年よりも多くした。アンケートの結果として、2024 年度よりも数値を改善することができた項目があった。

・退学率低減に向けて、ユナイトルームの稼働やカウンセリングルームの設置、個人面談の実施など、学生がいろいろな選択できる機会を設けた。担任が学生と関わっていく中で、いろいろな提案ができたが、結果として昨対比、+0.4%が退学する結果となり、2024 年度と比較して改善することができなかった。

・

3.評価項目の達成及び取組状況

(1)教育理念・目標

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

① 課題

・社会経済のニーズを踏まえた学校の将来構想

業界のニーズや働き方が変化している為、現状の業界動向・社会経済のニーズを把握し、将来構想を抱く必要がある。

② 今後の改善方策

・就職先、実習先との関係性を築くことでニーズや働き方、求める人物像と当校が行っている教育とのずれが無いようお互いの動向を把握する機会を設ける。

・産学連携などでも外部の方と教員、生徒との接触機会を設ける。

・教員を対象に業界関係者の講話機会などを設ける。

③ 特記事項

・特になし

(2)学校運営

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

① 課題

・情報のシステム化による業務の効率化

業務内での生成 AI や web テスト、ペーパーレスやチャット等を利用し業務の改善がみられるが、発注や授業資料などまだアナログな所もあり業務改善を図る必要がある。

② 今後の改善方策

生成 AI での授業資料の作成や発注システムの導入とそれに伴った勉強会を行い、業務改善を図る。また、2026年度の1年次の学生より一人一台タブレットやPCを活用しながら学習する仕組みづくりを行っているため、学生だけではなく、教員の活用に向けた勉強会が必要になってくる。

③ 特記事項

特になし

(3)教育活動

【評価項目】（評価＝適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1）	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
資格（免許）取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できているか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含め）の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
職員の能力開発のための研修等が行われているか	3

① 課題

・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか

・職員の能力開発のための研修等が行われているか

教員の指導の認識の統一、授業内容や生徒満足度、業界が求める人物像を育成するにあたり外部と連携し上記向上のために改善する必要がある。

② 今後の改善方策

・教科会やクラス会議を教科チーフや担任が主導となって定期的実施、生徒の情報共有だけでなく、技術力をあげる勉強会などを実施していく。

・外部とも連携し業界のニーズやトレンドなどを授業の中に取り入れる。

③ 特記事項

特になし

(4)学修成果

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
就職率の向上が図られているか	3
資格（免許）取得率の向上が図られているか	3
退学率の低減が図られているか	4
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

① 課題

就職率、資格（免許）取得率の向上が図られているか

・2025 年度の就職率・検定の取得率が前年度と比較し改善していない結果となった。

就職活動や検定に向けて学校全体でモチベーションアップをする必要と、個別に適した対応をする必要がある。

② 今後の改善方策

・就職のサポートの一環として担任以外のサポート教員を配置し、学生一人一人にあったサポートをできるようにし、決定率と満足度の両面をあげられるようにする。

・検定対策の集中講義や技能検定対策（検定練習）を行い、合格率をあげる。

・検定の重要性を HR や各授業で伝え出席率向上を図る。

③ 特記事項

特になし

(5) 学生支援

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3
学生相談に関する体制は整備されているか	4
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
学生の生活環境への支援は行われているか	4
保護者と適切に連携しているか	4
卒業生への支援体制はあるか	3
中途退学者への支援体制はあるか	3
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3

① 課題

卒業生への支援体制はあるか・中途退学者への支援体制はあるか

- ・卒業生や中途退学者に対し支援の実施が少ないことが課題である。
- ・卒業後の退職者への新しい職場就職に対しての支援が少ないことも課題である。

② 今後の改善方策

- ・同窓会や SNS などでの情報共有を行う。
- ・昨年度卒業した卒業生を集め、単年の同窓会を実施する。こちらからの一方的な発信ではなく双方向でやり取りができる環境の設定をする。

③ 特記事項

特になし

(6)教育環境

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3
防災・安全管理に対する体制は整備されているか	4

① 課題

学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか

・学校外の実習(インターンシップ)先の選定に向けて学生が自ら探すが、情報などが少なくもっと視野を広げられる仕組みが必要である。

・海外研修も同様に行く目的などの動機づけを強化する必要がある。

② 今後の改善方策

・学校外の実習(インターンシップ)を希望している学生が、適切に選択できるような仕組みを作る。

・海外研修説明会の内容の充実や決まっている内容の情報共有を行う。

③ 特記事項

特になし

(7)学生の入入れ募集

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学生募集活動は、適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
入学選考は、適性に行われているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

特になし

③ 特記事項

特になし

(8)財務

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

① 課題

【中長期計画】

なし

【予算・収支計画】

なし

【会計監査】

なし

【財務情報の公開】

なし

② 今後の改善方法

【中期計画】

なし

【財務情報の公開】

なし

③ 特記事項

2025 年度は第3期中期経営計画(2023 年度～2027 年度)の 3 年目にあたり、東京未来大学及び小田原短期大学の中期計画改定を反映し、第3期中期経営計画＜第 2.0 版＞を策定し年度開始時より適用した。中期経営計画及びその進捗状況はホームページ上に公開している。

(9)法令等の遵守

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
自己評価結果を公開しているか	4

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

特になし

④ 特記事項

特になし

ト

(10)社会貢献・地域貢献

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4

① 課題

学生のボランティア活動を奨励、支援しているか

・学生のボランティア活動の活躍の場の提供がまだ少ない

学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか

・食の分野としてのできること 食品ロスなどの生徒の知識や意識はまだ改善の余地がある。

② 今後の改善方策

・産学連携を通して、学生の意欲ややる気を表現できる機会を設ける。任意の活動を複数設定し、選択できる機会を多く設け、学生が一つでも多くのことにチャレンジできる機会を創出する。

③ 特記事項

特になし

(11)国際交流

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか	4
受入れ・派遣、在席管理等において適切な手続き等がとられているか	3
学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	3
学内で適切な体制が整備されているか	3

① 課題

受入れ・派遣、在席管理等において適切な手続き等がとられているか・学内で適切な体制が整備されているか

・学内では留学生担当や教務事務などが在籍管理を行っているが他の教員では知識不足により対応できていない。

② 今後の改善方策

・留学生の手続きや受け入れなど研修等を行い、適切な対応が出来るようにする。

・国際交流は入学前に日本語学校と連携し留学生向けオープンキャンパスを行い、受け入れ(入学)につなげていく。

③ 特記事項

特になし